

## 単元名 あの人に 会いたいな

配当時間 18時間

- 単元の目標 (1) 自分の町で働いている人達について調べる活動の中で、そこに暮らしたり働いたりする人々の工夫や、町のよさ、季節による自然の変化などに気付くことができる。
- (2) 町で働いている人達にインタビューに行き、発見したことや体験したことなどをまとめ、インタビューした人達やまわりの人々に伝えることができる。
- (3) 自分たちが住む町で働いている人達について、友達と協力して調べたり探検したりする活動を通して、そこで暮らす人々と関わり、自分たちの町に対して親しみや愛着をもとうとする。

## 標準的な展開例

02060201\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 1回目の町探検で興味や関心をもったことを振り返り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○ 1回目の探検後、地域の場所やもの、人と関わったことについて伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署で訓練している〇〇さんを見かけました。</li> <li>・パン屋さんでは新しい商品が出ていました。</li> </ul> <p>★町で頑張っている人の「すてき」を見付けよう</p> <p>○ もう一度会いたい、詳しく知りたい人、聞きたいことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パン屋の店員さん</li> <li>・児童館の館長さん</li> <li>・消防署の〇〇さん</li> <li>・農家の〇〇さん</li> <li>・交通指導員の〇〇さん</li> <li>・消防士さんはどんな訓練をしているのだろう。</li> </ul> <p>2～3 グループに分かれて探検の計画を立てる。</p> <p>★町の人の「すてき」を見付けるために、探検計画を立てよう</p> <p>○ もう一度会いたい、詳しく知りたい人を決め、探検グループに分かれる。</p> <p>○ 探検に行く計画を立て、計画カードを書く。</p> <p>《探検グループ名》 パン屋の〇〇さん 《日時》 〇月〇日 出発する時刻 〇時 帰ってくる時刻〇時 《役割》 班長、副班長、写真係、時計係、地図係 《持って行く物》 安全帽子、筆記用具、探検バッグ、探検メモ用紙、時計カメラ、防犯ブザー、水筒 《調べること・聞きたいこと》 ・いいにおいがするひみつ ・パンの作り方 ・たくさん種類があるわけ ・作っているところを見せてもらいたい 《約束》 ・お店の人とお客さんの邪魔をしない。 ・交通ルールを守る。</p> <p>○ 挨拶やインタビューの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こんにちは。〇〇小学校の〇〇です。1学期の町探</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安全確保のため、保護者やボランティアの人などへ引率の依頼をしておく。</li> <li>・事前に訪問先として想定される場所と打合せをしておく。探検の日時や人数が決まったら改めて正式に依頼する。児童のめあても事前に相談し、実現できるかどうかを把握しておく。</li> <li>・1回目の探検と同様、教科書P.30～31「まちのきせつ」を導入時に見せ、季節の変化とともに町や自然、そこで働いている人や遊びに来ている人など、様々な変化に気付かせる。</li> <li>・1回目の町探検後の町や人の様子を事前にデジタルカメラ等で写真を撮って掲示しておく。町の様子についての興味関心を継続させておく。</li> <li>・1回目の町探検で使用した拡大校区地図を使い、前回の町探検を想起させるとともに、町探検の後や夏休み中などに地域の場所、もの人と関わった経験を伝え合わせる。</li> <li>・教科書P.4～5の写真を参考にして、自分たちの地域の「すてき」を考えさせる。</li> <li>・1回目の町探検で、もっと知りたいことを膨らませ、「人との関わり」の学習を意識させる。</li> <li>・いつもいるわけではない人との関わりを計画している場合は、事前に対象の人と連絡をとり、訪問時にいてくださるよう依頼する。</li> <li>・グループは前単位と同じメンバーで構成するのが好ましい。</li> <li>・1回目の町探検では、「何となく行ってみたい」という思いも大切にしながら、ここでは、その児童なりに「〇〇で〇〇したい」というめあてをもたせたい。</li> <li>・地域で生活したり働いたりしている人の思いや願いに触れるような質問の内容を考えさせる。</li> <li>・質問を考えることが難しい児童には、教科書P.18～19「お話を聞かせてください」を参考に考えるよう支援する。</li> <li>・訪問先には、事前に活動の趣旨や児童の考えた質問、到着予定時刻などを知らせ、協力を依頼しておく。</li> <li>・保護者の協力を得る際には、学習のねらいと役割分担をきちんと伝えておく。</li> <li>・探検コースの途中にあるトイレや子ども110番の場所を確認しておく。</li> <li>・緊急時に学校と連絡を取る方法を、繰り返し指導しておく。</li> <li>・「安全に探検する」「人に迷惑をかけない」という目的を明示し、ルールやマナーを話し合わせる。</li> <li>・インタビューする際は、P.107「インタビューをする」を参考にして指導をする。</li> </ul>

検では、ありがとうございました。お話してもよろしいですか。（質問）ありがとうございました。」

4～5 探検に出かけ、地域の人と関わりながら、町の人の「すてき」を見付ける。

★町の人の「すてき」を見付けに行こう

○町探検のめあてを確認する。

・町の人「すてき」を見付ける。

・不思議、もっと聞きたいと思ったことは、町の人にインタビューする。

○探検の約束を確認する。

・探検のルールやマナー

・緊急時の対応

・帰着時刻等

○町探検に出かけ、町の人「すてき」を探したり、インタビューしたりする。

6 町探検で、聞いたことや気付いたことを伝え合い、インタビューカードにまとめる。

★町の人の「すてき」を振り返ろう

○見付けた町の人「すてき」をグループで振り返る。

・どうやって新しいパンをつくっているのか聞くと、お客さんのリクエストや、今流行っている物を試しながら作っていると教えてくれました。

○見付けた町の人「すてき」をインタビューカードに書く。

・〇〇さんは朝早くからパンを作っています。作るころはとても暑いです。朝早くから頑張っているわけはないと思います。いろいろな種類を作っているわけは、たくさんの人に食べてほしいからだそうです。今度はパンをどのように作っているか見てみたいです。

7～10 2回の探検を通して、発見したことや思ったことなどを工夫して表現する。

★町の人の「すてき」をまとめよう

○インタビューカードを基に、まとめる方法を考える。

《発表方法》

新聞

《テーマ》

パン屋さんのひみつ

《書くこと》

Aさん…パン屋の〇〇さんにインタビュー

Bさん…おすすめのパンについて

Cさん…〇〇さんの一日

Dさん…気を付けていること

○まとめたことを、誰に伝えるか考える。

・家の人

・お世話になった人

・地域の人

○役割を決めて、グループで協力して作ったり、発表の準備をしたりする。

【評】探検計画を立てる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

・インタビューで聞いたことを基に、更に質問をしてよいことを指導しておく。

・探検で見付けたことや気付いたことを、その場で発見カードにメモしたり、デジタルカメラ等で撮影したりさせる。

・地域の人や店の写真を撮る際には、必ず許可をもらうように指導する。

・国語科の指導と関連させ、メモの取り方を練習させておく。

・1学期に使った校区地図を再利用し、町の人「すてき」を付箋に書き、付け足していくのもよい。

・振り返る手助けとして、デジタルカメラで撮影したものを印刷したり、タブレットなどのICT機器を使ってグループ毎に共有させたりするとよい。

・同じグループの友達と、聞いてきたことを共有することで、気付きをより深めたり、新たな問いが生まれたりすることを期待する。

・繰り返し訪問したりインタビューすることによって必要性を感じられるような言葉掛けをする。

・インタビューカードには、聞いたことだけでなく、そこから分かったこと、感じたこと、新たに疑問に思ったことを書くよう指導する

【評】町探検でインタビューしたことをまとめる活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。

・今までは個人で学んだことをまとめ、発表してきた。この単元で初めてグループでまとめる活動となる。「作ってあそぼう うごくおもちゃ」のグループ活動につながるような支援をしたい。

・教科書P.20～23「しらべたことをつたえよう」を参考にして、発表方法のモデルを示す。（ポスター、新聞、紙芝居、マップ等）

・左記は、すてきな人についてグループでテーマを決め、画用紙等にまとめていく。

・発表をよりよいものにするため、もっと知りたいこと、疑問に思ったことを、もう一度町探検に行ったり、手紙や電話などの方法で地域の人に質問したりすることも考えられる。

・新聞を作る際、もう一度聞きに行きたいという思いをもつ児童も想定される。再度何うか電話やFAXなどを使って質問する等、探検場所へあらかじめ依頼をしておくとうい。

・探検場所への挨拶や打合せを行ったり、保護者への協力依頼をしたりするなど児童が対象や人と繰り返し関わることができるように配慮する。

・児童が探検先で「手伝う」「教わる」「参加する」などの体験活動が想定できる場合は、教師から活動を依頼しておくようにする。

・電話のかけ方やマナー、挨拶の仕方などは、

<p>○グループで町の人「すてき」発表の練習をする。</p> <p>11～12 ○○町の「すてき」な人について、家族や地域の人に発表する。 ★○○町の「すてき」な人について発表しよう ○グループごとに、作った新聞等を見せながら発表する。</p> <p>○感想を伝え合う。 ・パン屋の○○さんについて、みんなに発表できて嬉しいです。 ・他のグループの発表を聞いて、わたしたちの町にはたくさん「すてき」があることが分かりました。</p> <p>13 町の「すてき」な人に、感謝の手紙を書く。 ★町のすてきな人に、ありがとうを伝えよう</p> <p>○感謝の手紙を書く。 ・○○さん、お元気ですか。○○さんに何回も会いに行き、いろいろなことを教えてもらいました。ぼくたちの住んでいることは、こんなにすてきなパン屋さんがいることが分かって、嬉しくなりました。また、お店に行きます。ありがとうございました。 ○グループで手紙をまとめ、手紙を出す。</p> <p>14 町探検をして、気付いたことや感じたことを発表する。 ★町の「すてき」を振り返ろう ○これまでの町探検を振り返り、気付いたことや感じたことを伝え合う。 ・町探検では、素敵なパン屋さんを見付けました。○○さんは、毎朝私が起きる頃には、その日のパンを焼いているそうです。「パンを食べた人がおいしいと言ってくれることが嬉しい」と言っていました。○○さんの話を聞いて、わたしたちのために頑張っていることがわかりました。○○町のことがもっと好きになりました。</p> <p>○気付いたことや感じたことを作文に書く。</p> <p>15 みんなで使う町の施設について伝え合い、公共施設に出かける計画を立てる。(15～18時は単元途中に組み込むことも可能) ○身近な公共施設を利用した経験を伝え合う。 ・土曜日やイベントのある日は、児童館で遊んでいます ・図書館で本を借りたことがあります。</p> <p>★図書館の「すてき」を見付けるために、探検計画を立てよう</p> <p>○探検計画を立てる。 《日時》 ○月○日 《持っていく物》 安全帽子、筆記用具、探検バッグ、探検メモ用紙、カメラ、水筒 《調べること・聞きたいこと》 ・学校と本の借り方は同じか ・どんな本が人気か 《約束》</p>	<p>繰り返し練習しておく。また、手紙やFAXは、送る前に必ず教師が確認する。</p> <p>・国語科との関連を図り、相手に伝わりやすい話し方を指導する。 【評】見付けた町の人の「すてき」を表現する活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・授業参観や学習発表会を利用して、家族や地域の人へ発表する場を設ける。 ・地域の人からの感想もお願いし、児童に達成感をもたせたい。 【評】見付けた町の人の「すてき」を発表する活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・手紙などを使って児童からお礼を伝える活動も設ける。また、教師からも訪問先にお礼状を送ることを忘れないようにする。 ・直接渡すことができない場合は、郵送するかFAXを使って送るようにする。</p> <p>・「まちたんけん」で使用した校区地図を活用して、自分たちがたくさんの人と関わったことを振り返り、地域で生活したり働いたりしている人が多くいること、まちにはたくさんの「すてき」があることを実感させる。 ・1学期の町探検と比べて、地域の人との関わりが深まっていることを称賛する。 ・地域の人や自分たちの生活を支えていることや、楽しくしていることに気付かせたい。 ・学習が終わっても関わりをもとうと意欲を高めるようにしたい。 ・今までの記録カードをまとめ、単元の終末とする。 【評】学習を振り返り、作文を書く活動を通して「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・図書館にこだわらず、近隣の駅や児童館など児童にとって身近な公共施設を利用してもよい。 ・本単元で扱う「公共物」「公共施設」という言葉を、「みんなで使うもの」「みんなで利用する場所」という表現で児童に伝えよう。 ・公共施設としては、公園、児童館、集会所、公民館、図書館、博物館、美術館、駅、バスターミナル、防災倉庫、避難所などが考えられる。 ・他教科等や他単元と関連させ、「学校の図書館と比べる」「自分たちが調べたり読んだりしたい本を探しに行く」など、図書館に行き利用する必要性が生まれるようにする。 ・司書、ボランティア、カート、カウンターなど、児童が普段使わない言葉を事前に指導しておく。 ・学校図書館を利用するときのルールやマナーを想起させるとともに、地域の図書館には一般の人が多く来ていることを伝え、みんなが気持ちよく使うために気を付けることを考えさせる。 ・教科書P.27「やくそく」を活用し、ルールやマナーを確認する。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・静かにする。
- ・走らない。
- ・本を乱暴に扱わない。
- ・読んだ本は、元の場所に戻す。

16～17 図書館へ行き、図書館の利用方法を知ったり、インタビューしたりする。

★図書館の「すてき」を見付けよう

- 図書館司書の方から、本の借り方や図書館のルールやマナーを教わる。
- ルールやマナーを守って、本を読んだり、借りたりする
- 施設や働く人の工夫を調べる。
  - ・車いすのスロープ
  - ・入り口は音が鳴るようにしている
  - ・検索用のパソコン
  - ・読み聞かせをしてくれる人がいる。
  - ・本をきれいに並べている人がいる。

18 図書館を利用したり調べたりして、見付けたことや気付いたことを伝え合う。

★図書館の「すてき」を伝え合おう

- 図書館で見付けた「すてき」を記録カードに書く。
  - ・図書館の入り口に、返却ポストがありました。閉まっている時でも返せるようになっています。
- 図書館で見付けた「すてき」を伝え合う。
  - ・司書の〇〇さんは、本をきれいに並べたり、丁寧に扱っていました。私もこれからはみんなで使うものを大事にしたいです。

・事前に活動の趣旨を伝え、見学や利用、インタビューの依頼をしておく。

・本を借りる中で、どんな人が利用しているのか、本を探したり借りたりしやすくするために、どんな工夫があるかなど、図書館の「すてき」をたくさん探すように声掛けする。

【評】図書館を利用する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

・デジタルカメラで撮影した写真を印刷したりタブレットなどのICT機器を使ったりして気付きを共有させてもよい。

・身の回りにはみんなで使う物があることや、それを支えてくれている人がいることを自分との関わりで実感的に捉えさせ、正しく利用できるようにしたい。

【評】図書館で見付けた「すてき」を表現し、伝え合う活動を通して「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

#### 【 備 考 】

・1学期に行った町探検1回目は、主として場所やものとの関わりを重視し、今回の探検では、人との関わりを重視している。学習指導要領解説の内容(3)「地域の場所やそこで生活したり働いている人々」とは、自分の家や学校の周りの田や畑、商店やそこで働く人、友達の家やその家族、公園や公民館などの公共施設やそこを利用したり働いたりしている人、幼児教育施設や幼児や先生、近隣の人、子供会の人、目印にしている場所や物、遊べる川や林、自分や家の人がよく通る道などである。

・教科書P.26～27「図書館に行こう」は、町の公共施設の1つとして取り上げたものである。図書館は他の施設と比べ、子どもがより日常的に関わり、約束事も多い。必ずしも全員が一斉に行く扱いとはしていないため、指導や地域の実態に応じて取り扱うとよい。本カリキュラムでは、図書館に行く活動を4時間で計画している。